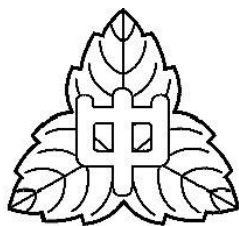


令和5年度 牧中学校だより



学校HP <https://www.maki-j.jorne.ed.jp/>

# 柏葉

第9号

令和6年1月18日発行

上越市立牧中学校

TEL 025-533-5023

FAX 025-533-5063

## 辰年「成就の年」を迎えて

いよいよ、令和5年度のまとめとなる3学期を迎えました。3学期初日の1月9日(火)の朝、生徒玄関前で皆さんを出迎え、皆さんの元気な姿や笑顔に触れ、大変うれしく思いました。特に今年は「令和6年能登半島地震」「羽田空港衝突事故」等で、不安な毎日を経験していただいていたのではないかと心配しておりましたが、その心配も「無用」のようでした。さて、今年は「辰」年です。古くから「辰」年は「成就の年」といわれています。今年は「甲辰(きのえたつ)」ということ、草木の成長を表す「甲(きのえ)」の年でもあることから、植物が成長するように勢いが増していくといった意味合いがあるとのこと。牧中学校も「甲辰(きのえたつ)」にあやかり、活力がみなぎる「成就の年」にしたいと考えております。さて、3学期は1・2学期に比べ授業日数が少なく、正に「光陰矢の如し」の3か月間になります。しっかりと見通しをもって、毎日を有意義に過ごしてほしいと願っています。

### 「3学期始業式」

1月9日(火)から授業を再開しました。始業式では、まず初めに代表生徒による「新年の抱負」の発表がありました。1年生はK・Hさん、2年生はM・Aさん、3年生はI・Fさんの3名が、代表として発表しました。3名とも自分の目標や決意を、聞き手に分かりやすく伝えていました。また、これまでの課題をどのように克服していくかなど、具体的な改善方法を例に挙げながら発表していました。3名とも堂々とした様子で新年にふさわしい発表だったと思います。



### 「校内百人一首大会」

1月9日(火)の3時間目に、新春恒例の校内百人一首大会が行われました。これは「日本の伝統文化を親しむ機会とする」を目的として、毎年国語科と図書・報道委員会



が主幹となって開催されています。参加者は全校生徒ですが、数名の教職員も競技に参加しました。今年度は、体育祭のチームをベースとしたペアが編成され、対戦表を基に競技が行われました。生徒は、国語の授業で百人一首について学び、大会に向けて懸命に取り組んできました。句が詠まれている際はじっと耳を傾けており、少しでも早く札を取ろうと一生懸命になっていました。札をとることができて喜んだり、取り逃がして悔しがったりする様子が見られ、皆さんの熱意を感じることができました。百人一首大会を通して、和歌に親しむだけではなく、みんなで一つのことに真剣に取り組む良い機会となりました。



## 昨年末も様々な学びがありました

### 「ようこそ先輩ミニ講演会」

12月7日（木）の1時間目に今年度最後の「ようこそ先輩ミニ講演会」を開催しました。今回は、現在上越市内の公立学校で教員としてお勤めのS・T様からお話をいただきました。S様は牧中学校の卒業生です。中学生時代は、野球部に所属し、部活動中心の生活を送られていたとのこと。秋の駅伝大会では、駅伝部として出場され、素晴らしい成績を残されています。また、S様が生徒会長の時に「牧中よさこい」が始まり、踊りて着用する法被がその頃につくられたとのこと。バックプリントされている「牧中魂」を揮毫（きごう）したのは自分であることを生徒に伝えられると、生徒は驚いた様子でした。



## 演題『牧中魂ってなんだろう？』

S様の夢は教員として働くことでした。高校は上越市内の公立高校に進学されましたが、勉強レベルの違いを感じ、大学進学に向けてかなり勉強されたとのこと。大学では、はじめての一人暮らしが始まり、一人で生活していくことの大変さを経験されたとのことでした。S様の好きな言葉は「すべては最善のために起こる」で、「どんな出来事も、良い方向につながる。失敗したとしても、そこから学んでいけば、人生の糧となる」と、ご自身の体験談を踏まえながら、生徒に話しておられました。講話の終盤に入ると「自分が変わらなければ、未来は変わらない」「今のうちに、自分で考え行動する習慣を身につける」と、ご自身の思いを込めて生徒に伝えておられました。最後に「牧中魂とはなんだと思いますか？」と生徒に問いかけ、数名の生徒が答えました。S様からは「私は、牧中で学んでいくことで、自分も、友達も、地域も前向きに頑張っていく思い」だと思いと述べられ、ミ二講演会が終了しました。



## 生徒の感想(抜粋)

- Sさんの話を聴いた感想は、勉強が苦手だし夢もないけど、受験の時までに勉強をたくさんして、手持ちを増やした方がいいと思ったから勉強を頑張ろうと思った。(1年生)
- 講演会を通して、牧中魂はどのようなものかを考えました。僕の中の牧中魂は、郷土愛や牧中生としての自覚だと思いました。これからも牧中魂を思って生きていきたいです。(1年生)
- 私は今回のお話を聴いて、勉強は将来の持ち札を増やすことができるので、集中して取り組もうと思いました。また、「すべては最善のために起こる。」という言葉がとても心に残りました。この言葉を聴いて、いろんなことにチャレンジすることが大切だと思ったので、これからもいろんなことにチャレンジしていろんなことを学んでいきたいです。(2年生)
- 自分が進む道は、すべて将来につながり、自分のためになるので後悔はしなくてもいいかなと思いました。自分が今やっていることに関する手札を沢山増やしたいと思いました。手札を沢山にして自分のために使えるように頑張ろうと思いました。自分が思う牧中魂は、諦めずに最後まで頑張ることです。(2年生)
- 私が思う牧中魂は、一人一人が自分の意思をもって生きることなのかなと思いました。そして、自分が思う意思は、一つのことに対して全力で挑むことです。最後に自分の意思を成し遂げられるように頑張りたいです。(3年生)
- 今回のお話を聴いて、勉強するという事は、自分の手札を増やすということだと納得しました。また、今やっていることは、最善につながり、決して無駄なことではないことを理解しました。とても分かりやすく、参考になりました。(3年生)

12月12日（火）に、来年度の生徒会役員を決める立会演説会、翌13日（水）には選挙が行われ、来年度の正・副会長が決定しました。演説会では、2名の立候補者と立候補者を支える責任者が堂々と演説をし、会場で演説を聞く生徒は、真剣な眼差しで演説を聞いていました。先輩が築いてきた伝統を更に発展させたいという意気込みが伝わってきた演説でした。演説後には、質問のある生徒が候補者に質問をし、候補者が自分なりの考えを自分の言葉で述べていました。新たなリーダーとなったA・NさんとM・Aさんには、公約に掲げた「互いを認め合える生徒会」「お互いを知り、何にでも挑戦できる生徒会」を目指して、今後の牧中をリードしていくことを願っています。会場準備や片付け、開票作業をしてくれた選挙管理委員会の皆さんもご苦労さまでした。次年度も「牧っていいね」「牧を熱くしよう」を合言葉に、全校体制で学校や地域を盛り上げてほしいと願っています。



### バス通学時の服装について

先日、バス通学時の服装を「制服」とする旨のメールを配信しました。これは、一般の方々も使われる公共交通機関を使用するにあたり、中学生としての社会性を身に付けさせたいというねらいがあります。現在は試験的に行っておりますが、今後は生徒対象に意向調査を行い、その結果を各ご家庭にお知らせしたいと考えております。また、PTA 常任委員会でも協議する予定です。よろしくお願いいたします。

## 2月の予定

日	曜	行事等
4	日	全中スキー大会（野沢温泉）
5	月	生徒総会 小中合同学校運営協議会 全中スキー大会（野沢温泉）
6	火	全中スキー大会（野沢温泉）
7	水	全校集会 全中スキー大会（野沢温泉）
8	木	全中スキー大会（野沢温泉）
9	金	全中スキー大会（野沢温泉）
14	水	全校音楽（5限）
15	木	学習情報指導員来校日 学校司書勤務日

日	曜	行事等
16	金	三送会
17	土	灯の回廊
19	月	1・2年生定期テスト PTA常任委員会
20	火	1・2年生定期テスト
21	水	新入生体験入学・入学説明会
22	木	同窓会入会式 学習情報指導員来校日
26	月	学級活動優先日
28	水	2年生修学旅行（近畿方面）
29	木	2年生修学旅行（近畿方面）
3/1	金	2年生修学旅行（近畿方面）